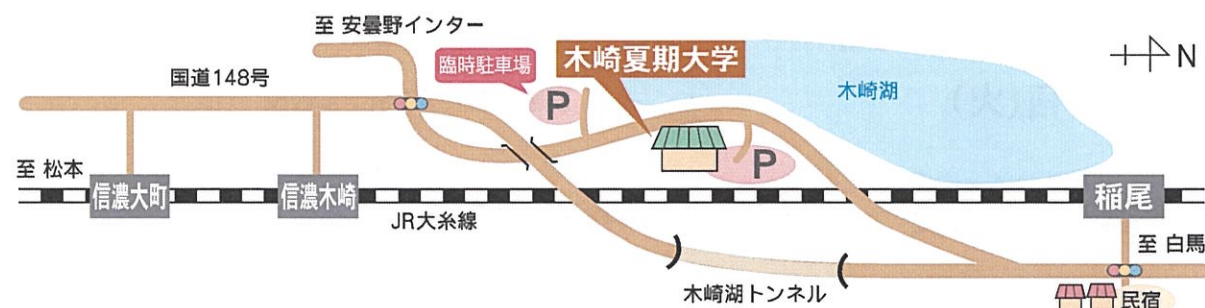


講義時間割

日時	9:10～9:40	休憩 20分	①10:00～11:45 105分	休憩 65分	②12:50～13:50 60分	休憩 20分	③14:10～15:10 60分
8月1日 (金)	開講式 (30分)		江守 正多 先生 (東京大学未来ビジョン研究センター教授) 『気候の危機にどう向き合うか』				質問・補講・懇談
日時	①9:10～10:15 65分	休憩 25分	②10:40～11:45 65分	休憩 65分	③12:50～13:50 60分		④14:10～15:10 60分
8月2日 (土)	高原 明生 先生 (東京女子大学特別客員教授) 『現代中国と世界秩序——米中対立と日本』						質問・補講・懇談
8月3日 (日)	薦田 治子 先生 (武蔵野音楽大学名誉教授) 田中 奈央一 先生 (東京藝術大学非常勤講師 平家演奏家 都立王子総合高校特別専門講師) 『「平家物語」と琵琶法師—木曾最期を聴く』						質問・補講・懇談
8月4日 (月)	岡ノ谷 一夫 先生 (帝京大学特任教授 東京大学名誉教授) 『コミュニケーションから考える言語と意識の起源』						質問・補講・懇談
8月5日 (火)	松沢 裕作 先生 (慶應義塾大学経済学部教授) 『歴史学の歴史 —近代日本を中心として—』						質問・補講・懇談
日時	①9:10～10:15 65分	休憩 25分	②10:40～11:45 65分	休憩 65分	③12:50～13:50 60分		④14:10～14:40 30分 14:50～15:10
8月6日 (水)	小野塚 知二 先生 (東京大学名誉教授／特任教授 放送大学客員教授) 『食の歴史——英国の経験と日本の現状』						質問・補講・懇談 閉講式 (20分)

木崎夏期大学案内



- 「JR信濃大町駅」下車の場合……………タクシーで約15分
- 「JR信濃木崎駅」下車の場合……………木崎湖畔沿いに北に向かって徒歩15分
- 「JR稲尾駅」下車の場合……………国道を南に向かって徒歩 8分
- 大町市民バスふれあい号利用の場合 ……信濃大町駅 8:22発 約25分(大人200円・土日曜運休)
【□平(青木方面)コース】 ※フリー乗降区間につき、降車場所を「木崎夏期大学」とお伝えください。
- 自家用車の場合 ……………国道148号線利用 大学北側に、専用駐車場あり

※ 木崎湖入口付近に、臨時駐車場を確保してあります(徒歩約10分)。そちらへも駐車してください。
※ 駐車台数に限りがありますので、ご来堂の際はできるだけ相乗りをお願いいたします。

信濃木崎夏期大学事務所

夏期大学に関する 問い合わせ

〒398-0002 長野県大町市大町1058-33北安曇教育会館内
TEL 0261-22-0440・FAX 0261-22-7501
ホームページ <http://kizakikakidai.sakura.ne.jp>

夏期大学開講中(8/1～8/6) 〒398-0001 長野県大町市平木崎7243
信濃木崎夏期大学 TEL0261-22-6164

令和7年度 第108回 信濃木崎夏期大学講座案内

期間 令和7年8月1日(金)～8月6日(水)

会場 長野県大町市木崎湖畔 信濃木崎夏期大学



静かなたたずまいをみせる信濃公堂



熱心に学ぶ受講者

北アルプスの麓、四季の山々の表情が湖面に映える木崎湖畔の丘の上に、わが国初めての夏期大学として信濃木崎夏期大学が開設されたのは、大正6年のことでした。令和7年となる本年も伝統を引き継ぎ、108回目の夏期大学を開講いたします。

講座は、自然科学・社会科学・人文科学に関する幅広い講義内容に加え、講師の先生と懇談もできるように編成いたしました。わが国一流の講師の先生方による講義は、生涯学習への糧としてご満足いただけるものと確信いたします。

蟬時雨の中、湖面を渡る涼風を満喫しながらの受講をお勧めいたします。知人をお誘いのうえ、ご来堂くださいますようお願いしております。

令和7年6月

●公益財団法人 信濃通俗大学役員会

神野 直彦 徳丸 吉彦 岸本 美緒 小泉 英明 松下 淳一
岡村 定矩 荒井今朝一 幅下 守 中村 一郎 和田 俊信

●大町市教育委員会 北安曇郡各町村教育委員会 一般社団法人北安曇教育会

信濃木崎夏期大学事務所長 篠崎 元嗣

どなたでも受講できます

- 【受講料】 一日につき500円(学生は200円)会場受付で、納入してください。
(但し、大町市・北安曇郡の方、ならびにこの地域出身の方は無料)
- 【申し込み方法】 当日、会場入り口で受け付けます。事前に予約の必要はありません。
- 【その他】 受講証明書を希望する方には交付いたします。
法律の施行に伴い、敷地内はすべて禁煙となります。

講座案内

8月1日(金)

東京大学未来ビジョン研究センター教授

江守正多先生

●気候の危機にどう向き合うか

人間活動による温室効果ガスの増加が気候変動（地球温暖化）を起こしている。気候変動が人類にもたらす危機と、その回避のために必要な社会システムの大転換について論じる。

参考書 「気候変動と社会」 東大出版会

8月2日(土)

東京女子大学特別客員教授

高原明生先生

●現代中国と世界秩序——米中対立と日本

大国が自己中心的な行動に走り、世界秩序は動揺している。米国の変化を踏まえ、中国の状況についてよく理解した上で、冷静かつ現実的に日本の対応を考えなければならない。

参考書 「中国年鑑2025」一般社団法人中国研究所編、明石書店（2025年）
「永遠の隣国 私達の日中五十年」福田康夫監修、五百旗頭真責任編集、三和書籍（2023年）

8月3日(日)

武蔵野音楽大学名誉教授

薦田治子先生

東京藝術大学非常勤講師 平家演奏家
都立王子総合高校特別専門講師

田中奈央一先生

●『平家物語』と琵琶法師—木曾最期を聴く

琵琶法師が語り始めた『平家物語』は、800年近くの歳月を超えて今日まで音楽家によって語り継がれてきました。当日は『平家物語』の生演奏を交えて物語の理解を深めます。

参考書 「平家の音楽—当道の伝統一」 著／薦田治子 第一書房（2003年）

8月4日(月)

帝京大学特任教授
東京大学名誉教授

岡ノ谷一夫先生

●コミュニケーションから考える言語と意識の起源

動物のコミュニケーション行動のいろいろを紹介し、それぞれの行動から心の存在が推測できるかを考える。また、ヒトだけがもつ言語について、動物のコミュニケーション行動との連続線上におけるかどうか検討する。さらに、コミュニケーションから言語や意識が生まれるという仮説について議論する。

参考書 「つながりの進化生物学」朝日出版社 「脳に心が読めるか」青土社 「ことばと心」玉川大学出版局

8月5日(火)

慶應義塾大学経済学部教授

松沢裕作先生

●歴史学の歴史 —近代日本を中心として—

歴史家もまた歴史のなかに生きており、歴史学にも歴史がある。この講義では、日本の歴史学の始まりや、信州出身の西洋史研究者・今井登志喜の生涯などを通じて、近代日本の歴史学の歴史の多様な側面に迫ってみたい。

参考書 松沢裕作『重野安綱と久米邦武』山川出版社（2012年）

8月6日(水)

東京大学名誉教授／特任教授
放送大学客員教授

小野塚知二先生

●食の歴史——英国の経験と日本の現状

食は人間にとって最も根源的な営みですが、それはいま臨界点に差し掛かかっています。その一つが祭事のご馳走の消滅で、それは世界各地で遅速や程度の差はあれ、進行しています。食の臨界点の実相を英国の二世紀半の経験と日本の現状に注目して解き明かします。

参考書 小野塚知二「食文化の隆盛と危機の同時進行：英国と日本の経験」『農村と都市をむすぶ』第868号、2024年6月
https://researchmap.jp/search_Tomo/published_papers/46815236/attachment_file.pdf
小野塚知二「食料貿易の過去・現在・未来：人口減少社会の展望」『月刊東京』第450号、2024年1・2月
https://researchmap.jp/search_Tomo/published_papers/45584593/attachment_file.pdf
小野塚知二「日本の食の隆盛と危機：グローバル化の一断面」『季刊くらしと協同』第44号、2023年6月
https://researchmap.jp/search_Tomo/published_papers/42658825/attachment_file.pdf
小野塚知二「イギリス料理はなぜまずい？」『イギリス文化史』井野瀬久美恵／編 昭和堂（2010年）